

Financial Results

財務情報(要約)

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	20/3期 (前期)	21/3期 (当期)
売上高	21,138	22,669
営業利益	1,394	1,908
経常利益	1,372	1,975
親会社株主に帰属する当期純利益	792	974

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	20/3期末 (前期末)	21/3期末 (当期末)
流動資産	7,453	9,744
固定資産	3,183	4,593
資産合計	10,637	14,338
流動負債	5,134	7,904
固定負債	63	119
負債合計	5,198	8,024
株主資本	4,898	5,642
資本金	300	300
資本剰余金	355	331
利益剰余金	6,904	7,575
自己株式	△2,662	△2,565
その他の包括利益累計額	24	48
新株予約権	13	13
非支配株主持分	502	610
純資産合計	5,438	6,314
負債・純資産合計	10,637	14,338

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	20/3期 (前期)	21/3期 (当期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,086	1,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018	△1,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	1,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△458	1,341
現金及び現金同等物の期首残高	4,162	3,704
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△3
現金及び現金同等物の期末残高	3,704	5,041

Corporate Data

会社概要

会社概要

(2021年3月31日現在)

社名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード：3676)
主なグループ会社	株式会社デジタルハーツ DIGITAL HEARTS CROSS Marketing and Solutions Limited (旧社名：Metaps Entertainment Limited) DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. Orgosoft Co., Ltd. 株式会社エイネット LOGIGEAR CORPORATION LOGIGEAR VIETNAM CO., LTD. Aetas株式会社 株式会社フレイムハーツ 株式会社レッドチーム・テクノロジーズ
正社員数（連結）	1,431名

株主メモ

(2021年3月31日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当金 毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュース等、様々な情報を公開しています。

<https://www.digitalhearts-hd.com/ir/>



デジタルハーツ ホールディングス

証券コード：3676

株主通信

2021年3月期

2020.4.1 ▶ 2021.3.31

第二創業期を経て 新たな成長ステージへ 「DX人材プラットフォーム カンパニー」を目指す

代表取締役社長 CEO
二宮 康真



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、代表取締役社長 CEOに就任いたしました二宮康真です。はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々とそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。

Q | 新しい経営体制に移行した
経緯を教えてください。

A 当社では、2018年3月期以降「第二創業期」として、主力のエンターテインメント事業のさらなる成長を

追求するとともに、第二の収益の柱となるエンタープライズ事業の拡大に注力して参りました。特にエンタープライズ事業においては、これまで人材強化やサービス拡充、技術力向上に対する積極的な先行投資を実施して参りました。当期は、これらの先行投資の効果が発現し、エンタープライズ事業の売上高は7,021百万円と、100億円が視野に入る規模にまで急成長するとともに、第二創業期以降初の通期黒字化を実現するなど、事業基盤を確実に構築することができました。その結果、当期の業績は、エンターテインメント事業で一部新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、エンタープライズ事業が業績を牽引し、売上高は22,669百万

円(前期比107.2%)、営業利益は1,908百万円(前期比136.9%)と、増収・大幅増益を達成いたしました。

当期において、第二創業期の最大のミッションであった、“デバッグの単一事業モデルから脱却し、エンタープライズ領域へ大きく舵をきる”というドラスティックな改革は完了したと考えています。今後は、これまで作り上げてきた事業基盤をいかにより強固なものにしていくのが非常に重要であり、経営トップに求められるスキルも、求心力をもって物事を大きく動かしていくというよりは、それぞれの事業をより細かく見ながらマネジメントをしていくことが大切になってきます。そのためこの度、第二創業期においてエンタープライズ事業を一から現場で育ててきた私と、M&Aを通じて多くのリーダーを巻き込んできた取締役 CFO の筑紫を中心とする新たな経営体制へ移行することといたしました。

2021年3月期 連結業績

(百万円)	前期実績	当期実績	
	20/3期	21/3期	前期比
売上高	21,138	22,669	107.2%
営業利益	1,394	1,908	136.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	792	974	123.0%

Q | 今後の成長戦略について
お聞かせください。

A 今後も、エンタープライズ事業を中心にさらなる成長を目指していくという戦略から大きな変更はありません。エンタープライズ事業をさらに拡大するためには、引き続きエンジニアの増強が必要不可欠だと考えております。これまでは、中途採用の強化やM&Aの活用、テスターからの育成等、社内エンジニアをどうやって増やしていくかにフォーカスしておりましたが、今後はフリーランスエンジニアやベトナムのオフショア拠点等、多様な人材を今まで以上に活用しながら、人材プールを拡大していきたいと考えています。また、第二創業期に拡充した豊富なサービスを組み合わせた提案型の営業活動に注力するとともに、テスト自動化をはじめとする専門性の向上に継続的に取り組むことで、顧客基盤の拡大や競争優位性の確立を目指して参ります。

決算のポイント

- 過去最高の売上高を更新
営業利益は**2桁増益を達成**
- エンタープライズ事業で
第二創業期初の**通期黒字化を実現**
- さらなる成長を目指し
M&Aや事業提携等を加速

一方、エンターテインメント事業では、主力のデバッグにおいて、引き続きテストセンターであるLab.の業務改革を推進し、収益性のさらなる向上を図って参ります。また、当期子会社化したMetaps Entertainmentグループ（現：DIGITAL HEARTS CROSSグループ）とのシナジーを追求し、翻訳・カルチャライズ・プロモーション支援等、コンテンツの海外展開に必要なサービスをワンストップで提供できる体制を構築し、グローバル領域での成長を目指して参ります。

これらの取り組みを推進していくことで、2024年3月期には売上高500億円の規模にまで会社を成長させるとともに、様々なDX人材を輩出できるようなプラットフォームカンパニーになりたいと考えております。なお、次期の2022年3月期の業績につきましては、売上高28,420百万円(前期比125.4%)、営業利益2,100百万円(前期

比110.0%)と、過去最高の売上高・営業利益を計画しております。また、株主還元につきましては、年間配当金15.0円(当期より1.0円増配)を予定しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

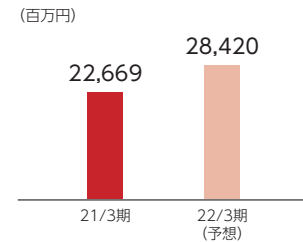
A デジタル化が進む現代において、ソフトウェアの安心・安全を守る当社のビジネスは今後ますます社会にとって重要なものになると考えております。今後も、日本ならではの緻密さを活かしたソリューションをグローバルに展開することで、企業価値の向上や持続可能な社会への貢献に努め、当社に関わる全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年3月期 通期業績予想

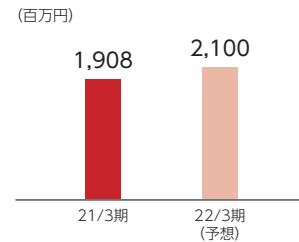
売上高

28,420百万円
前期比 125.4%



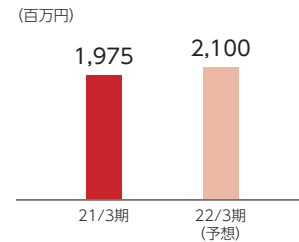
営業利益

2,100百万円
前期比 110.0%



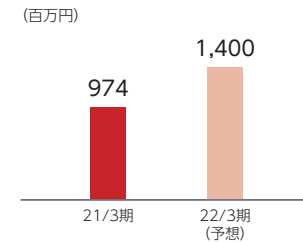
経常利益

2,100百万円
前期比 106.3%



親会社株主に帰属する当期純利益

1,400百万円
前期比 143.7%



Topics トピックス

1 新たに2社が当社グループに参画

エンターテインメント事業

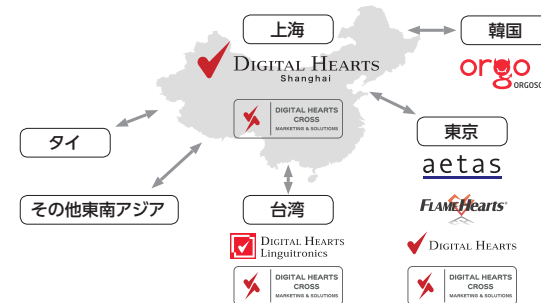


DIGITAL HEARTS CROSS Marketing and Solutions Limited*

中国ゲームメーカーがコンテンツを海外に展開する際に必要となるマーケティング支援サービスを提供

▶ 目指すべきグループシナジー

翻訳・カルチャライズ・プロモーション支援等“総合ローカライゼーションサービス”を強化し、**海外ゲームメーカーとの取引を拡大**



*旧社名：Metaps Entertainment Limited

エンタープライズ事業

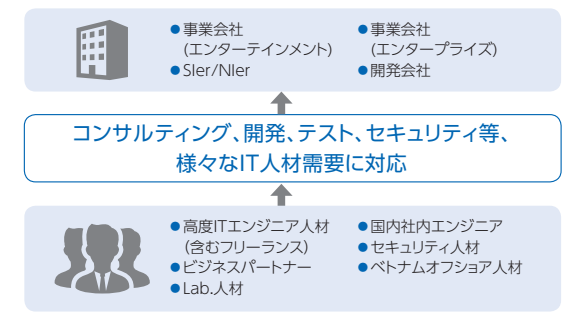
identity

株式会社アイデンティティ

エンジニア等のIT人材を対象に、フリーランスマッチング、人材紹介、人材派遣といった人材サービスをクライアントに提供

▶ 目指すべきグループシナジー

アイデンティティの高度IT人材と当社グループの多様な人材を融合し、**DX向けサービスを一挙に拡大**



2 サステナビリティへの取り組みを推進

持続可能な社会へ貢献する取り組みを促進

- 「人材」「技術」「地域社会」という3つのテーマに基づき様々な取り組みを推進
- 2021年3月にサステナビリティ委員会を設立し、重点課題の特定を行うとともに、社会的課題解決に向けた取り組みを加速



当社のサステナビリティへの取り組みに関するWebサイトを公開いたしました。
<https://www.digitalhearts-hd.com/sustainability/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



『SAVE the DIGITAL WORLD』

当社グループは、2021年5月に中期経営ビジョンを発表いたしました。
今後もエンタープライズ事業を中心にさらなる成長を目指して参ります。

18/3期 » 21/3期
第二創業期

第二の収益の柱となる
エンタープライズ事業
の基盤構築

21/3期連結売上高実績
226億円

発展期の重点施策

人材プールの拡大



技術強化



多様な人材に合わせた
労働環境の整備



M&Aでの成長加速
と投資効率の両立



営業強化



経営基盤の強化



22/3期 »
発展期

エンタープライズ事業を
中心とする成長戦略

24/3期連結売上高目標

500億円

22/3期

24/3期

第二創業期の振り返り

人材・技術基盤

- ➡ エンジニア数が約8倍に増加
- ➡ M&A等により専門的な知見を持つグループ会社が増加

サービス基盤

- ➡ 国内テストエンジニアの平均単価が上昇
- ➡ テスト自動化やセキュリティ検査・監視等、高度テクノロジーサービスを拡充

顧客基盤

- ➡ エンタープライズ事業の国内顧客数が300社程度増加
- ➡ エンタープライズ事業において年間10百万円以上の取引がある顧客比率が上昇

**基盤構築
完了**

2024年3月期数値目標

	21/3期 実績	24/3期 目標		21/3期 実績	24/3期 目標
売上高	226億円 ▶	500億円	IT人材・ クオリティスト ^{※2} 人材数	4,517名 ▶	20,000名
ROIC ^{※1}	16.8% ▶	15%以上	女性管理職比率 ^{※3}	10.7% ▶	20%以上
M&A	3件 ▶	5件(3年合計)			
国内法人顧客数	878社 ▶	2,000社			

※1 ROIC= EBITDA×(1-実税率)÷(有利子負債+株主資本)で算出
※2 クオリティスト…品質向上スペシャリストを指す当社独自のワード
※3 日本国内のグループ会社における比率について記載

エンターテインメント事業

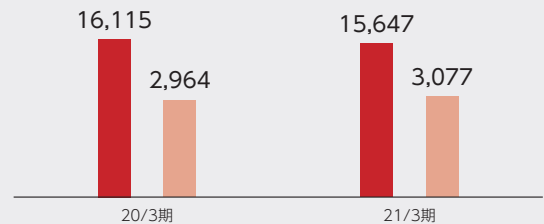
コンソールゲーム、モバイルゲーム、パチンコ・パチスロのデバッグ、ゲームの受託開発、プロモーション活動支援等のサービスを提供

売上高
15,647 百万円
(前期比97.1%)

セグメント利益
3,077 百万円
(前期比103.8%)

業績推移

■ 売上高(百万円) ■ セグメント利益(百万円)

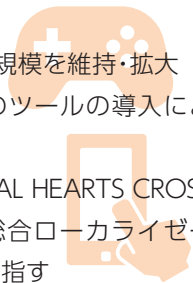


21/3期 ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症拡大や厳しいパチンコ・パチスロ市場の影響を受け、デバッグは減収減益
- クリエイティブ、メディアが大幅増益を達成し、セグメント全体では増益を達成

22/3期 見通し

- 付加価値の向上や営業力強化で取引規模を維持・拡大
- オペレーション体制の強化と独自のツールの導入により業務効率化を推進
- 22/3期2Qより連結開始となるDIGITAL HEARTS CROSSグループとのシナジーを追求し、“総合ローカライゼーションサービス”の早期立ち上げを目指す



エンタープライズ事業

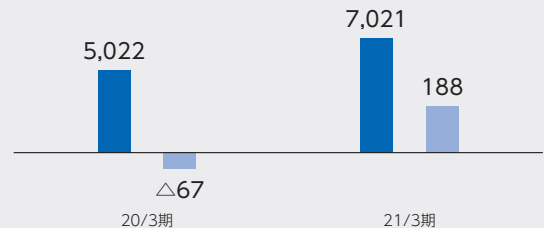
エンタープライズシステムを対象とするシステムテスト及び受託開発サービスや、ITサポート、セキュリティ等のサービスを提供

売上高
7,021 百万円
(前期比139.8%)

セグメント利益
188 百万円
(前期比 — %)

業績推移

■ 売上高(百万円) ■ セグメント利益(百万円)



21/3期 ハイライト

- 前期に続き、システムテスト、ITサービス・セキュリティの両サービスで売上高2桁成長を実現
- これまで実施してきた先行投資の効果により事業規模が拡大し、第二創業期以降初の通期黒字化を達成

22/3期 見通し

- 高度ITエンジニアをはじめとする人材に対する投資を拡大
- これまで拡充してきたサービスのクロスセルにより、新規顧客の開拓及び1社当たりの取引規模拡大を目指す
- ベトナムオフショア拠点の活用本格化

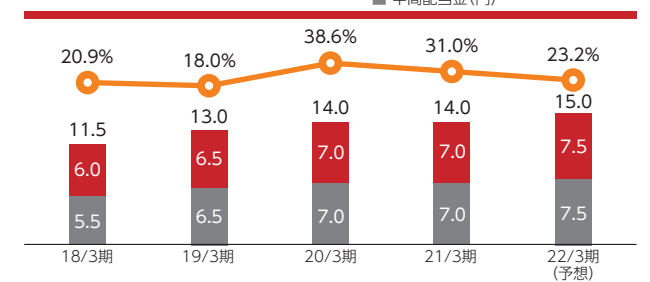


2021年3月期の1株当たりの年間配当金は前期と同水準の14.0円を実施

当社は、事業成長投資と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向20%を下限の目途として配当を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の年間配当金につきましては、1株当たり14.0円とさせていただきました。また、次期の年間配当金につきましては、当期より1.0円増配となる15.0円を予定しております。

配当金・配当性向の推移



Stock Information

株式の状況

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株
発行済株式の総数 23,890,800株
(自己株式2,277,431株を含みます。)
株主数 6,511名

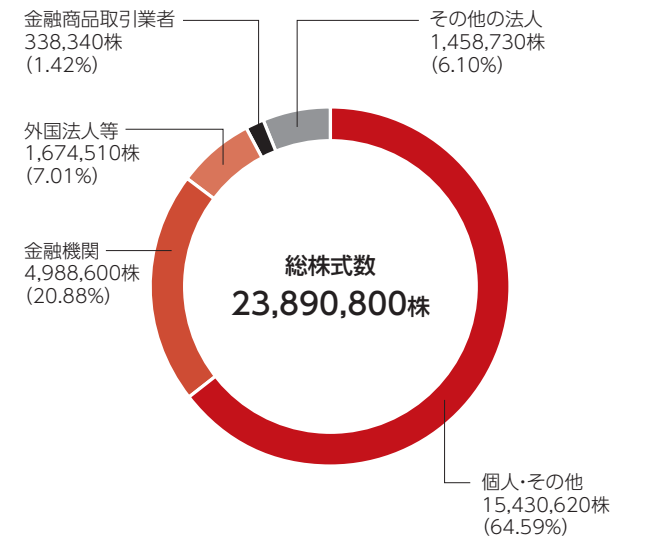
大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤 栄一	8,078,785	37.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,730,800	12.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,390,000	6.43
A-1合同会社	1,324,900	6.13
A&G共創投資第1号投資事業有限責任組合	1,095,983	5.07
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	640,600	2.96
若狭 泰之	200,000	0.93
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	193,900	0.90
玉塚 元一	161,080	0.75
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	151,130	0.70

- (注) 1. 当社は、自己株式2,277,431株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2021年3月31日現在)



※「個人・その他」には自己名義株式2,277,431株(9.53%)を含んでおります。